



第3トレンチ出土遺物(1)



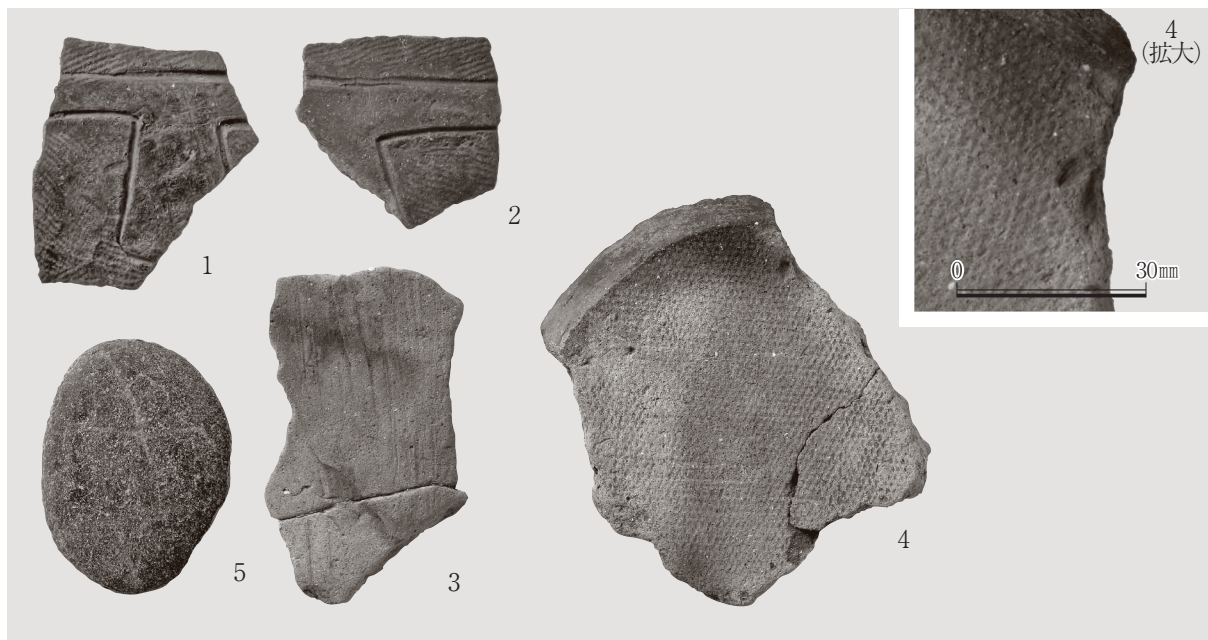
第3トレンチ出土遺物(2)



SK21出土遺物



SK34出土遺物



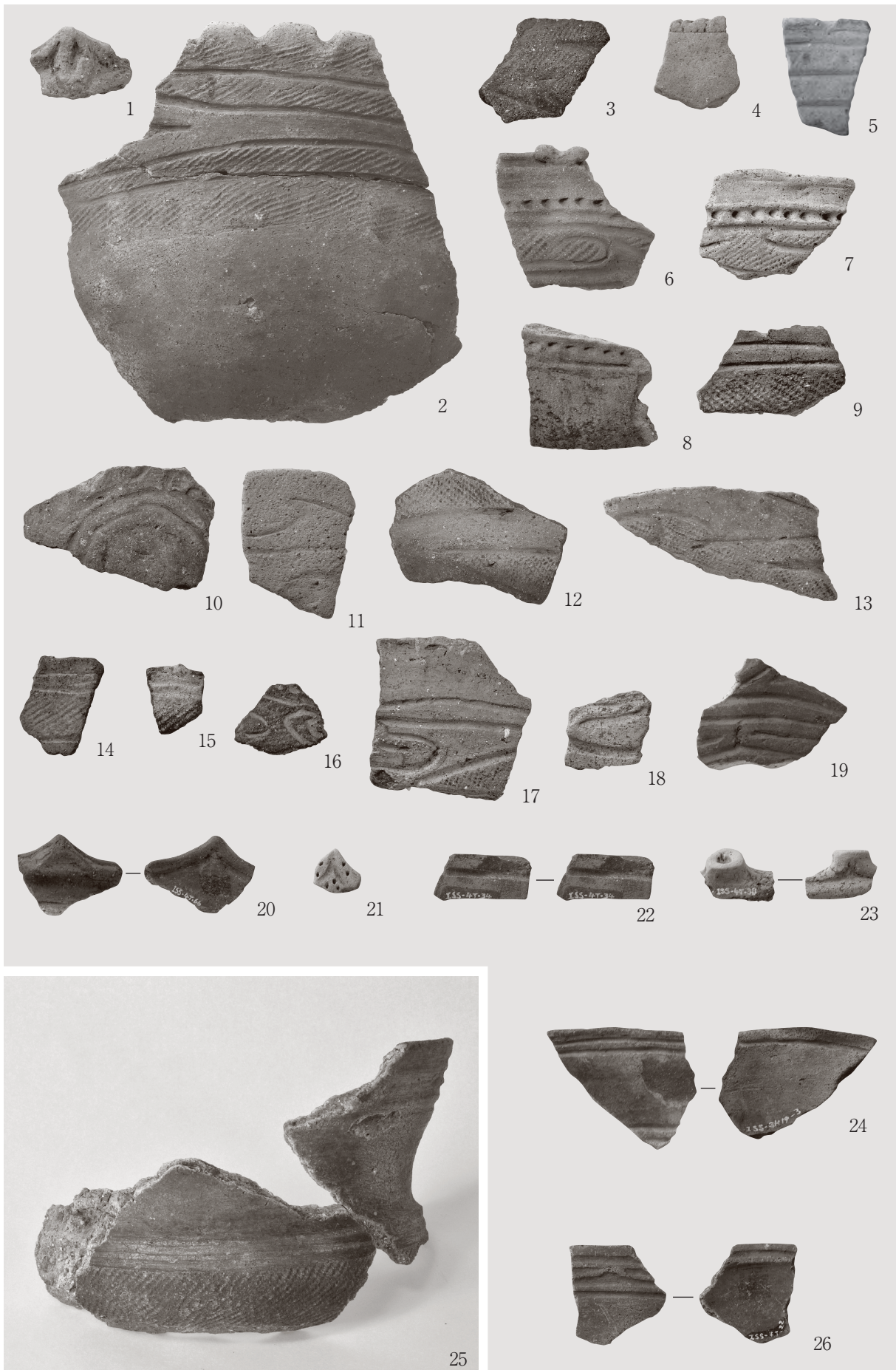
SX4出土遺物



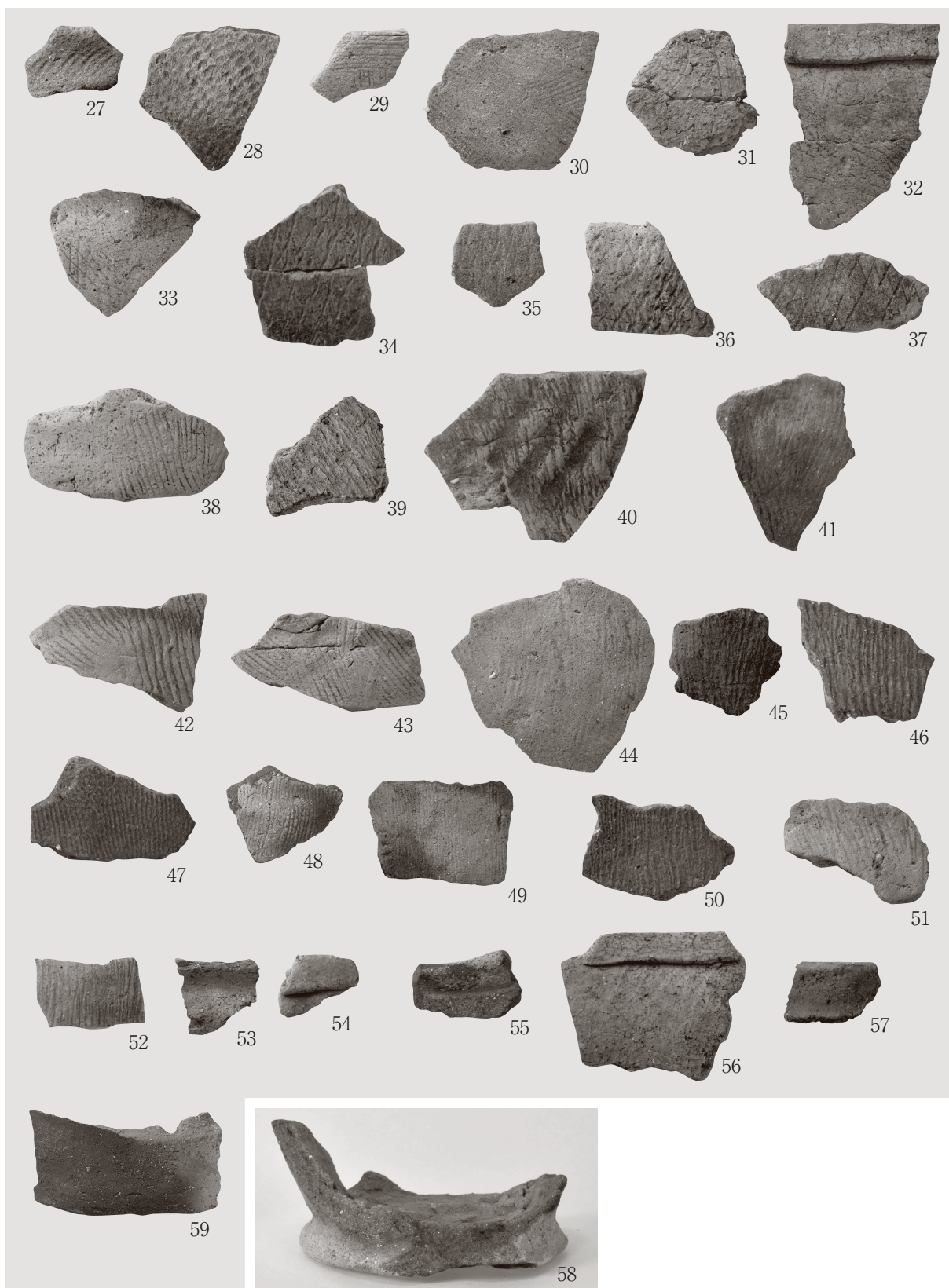
SK29出土遺物



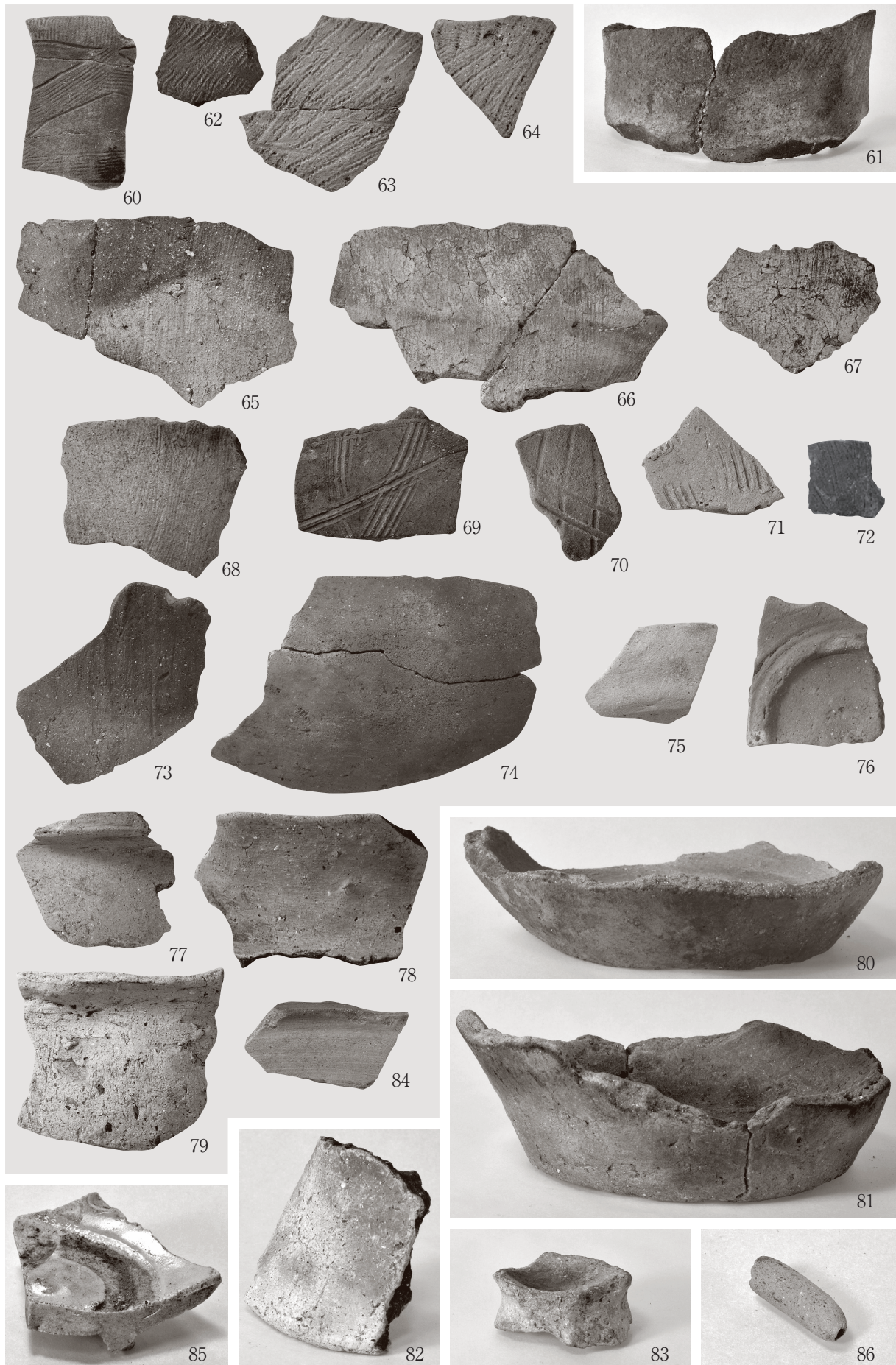
SK42出土遺物



第4トレンチ出土遺物(1)



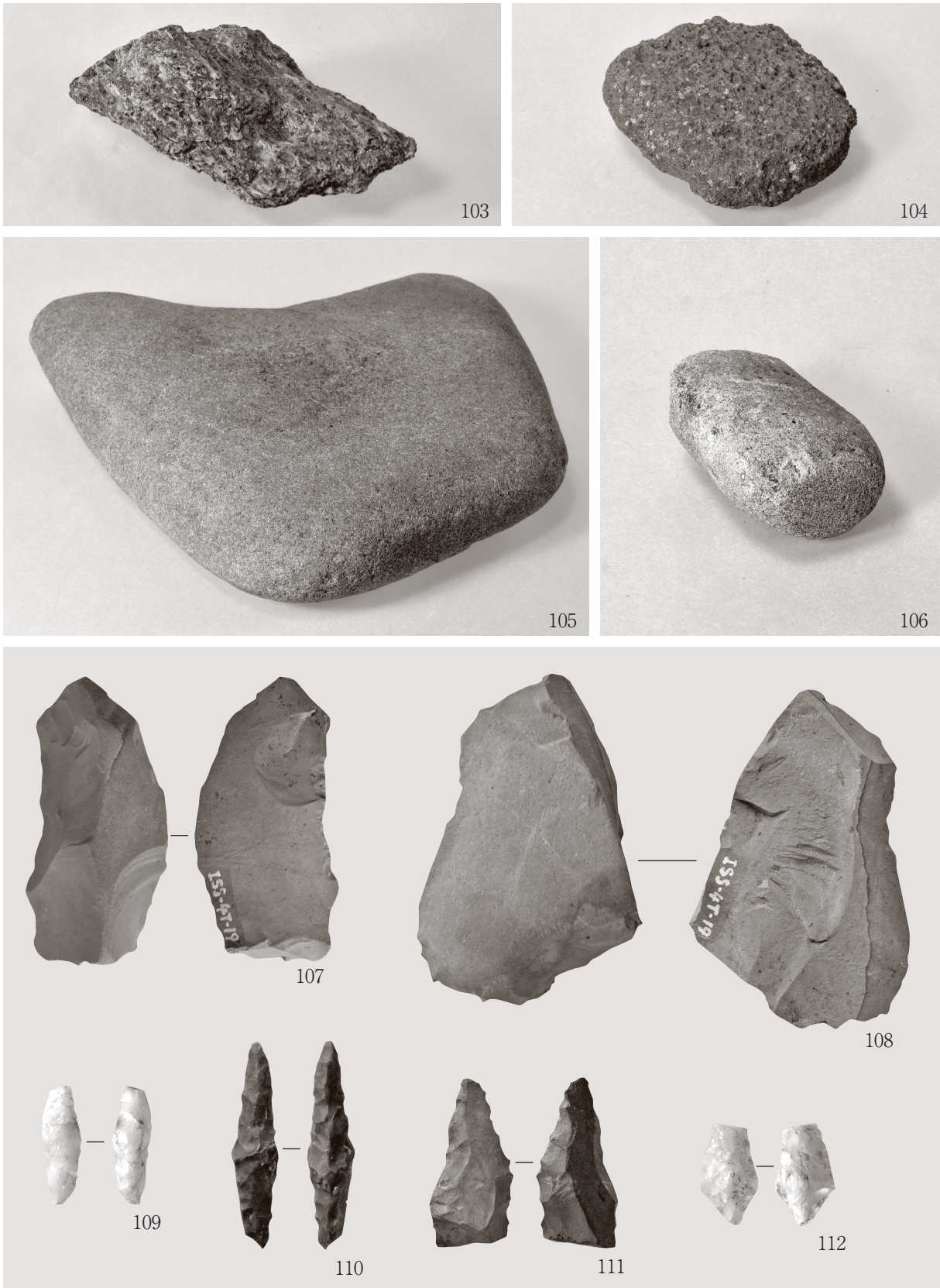
第4トレンチ出土遺物(2)



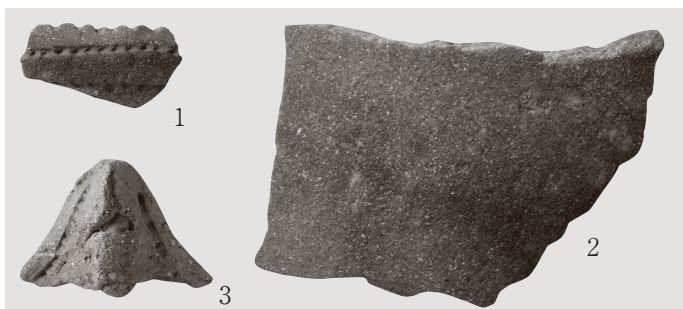
第4トレンチ出土遺物（3）



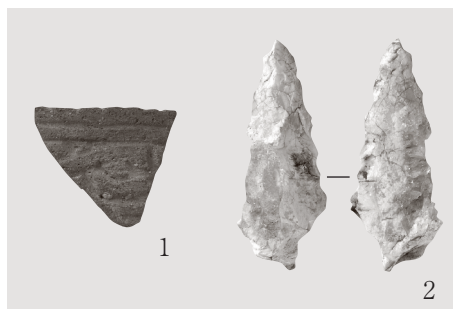
第4トレンチ出土遺物(4)



第4トレンチ出土遺物 (5)



SK32出土遺物



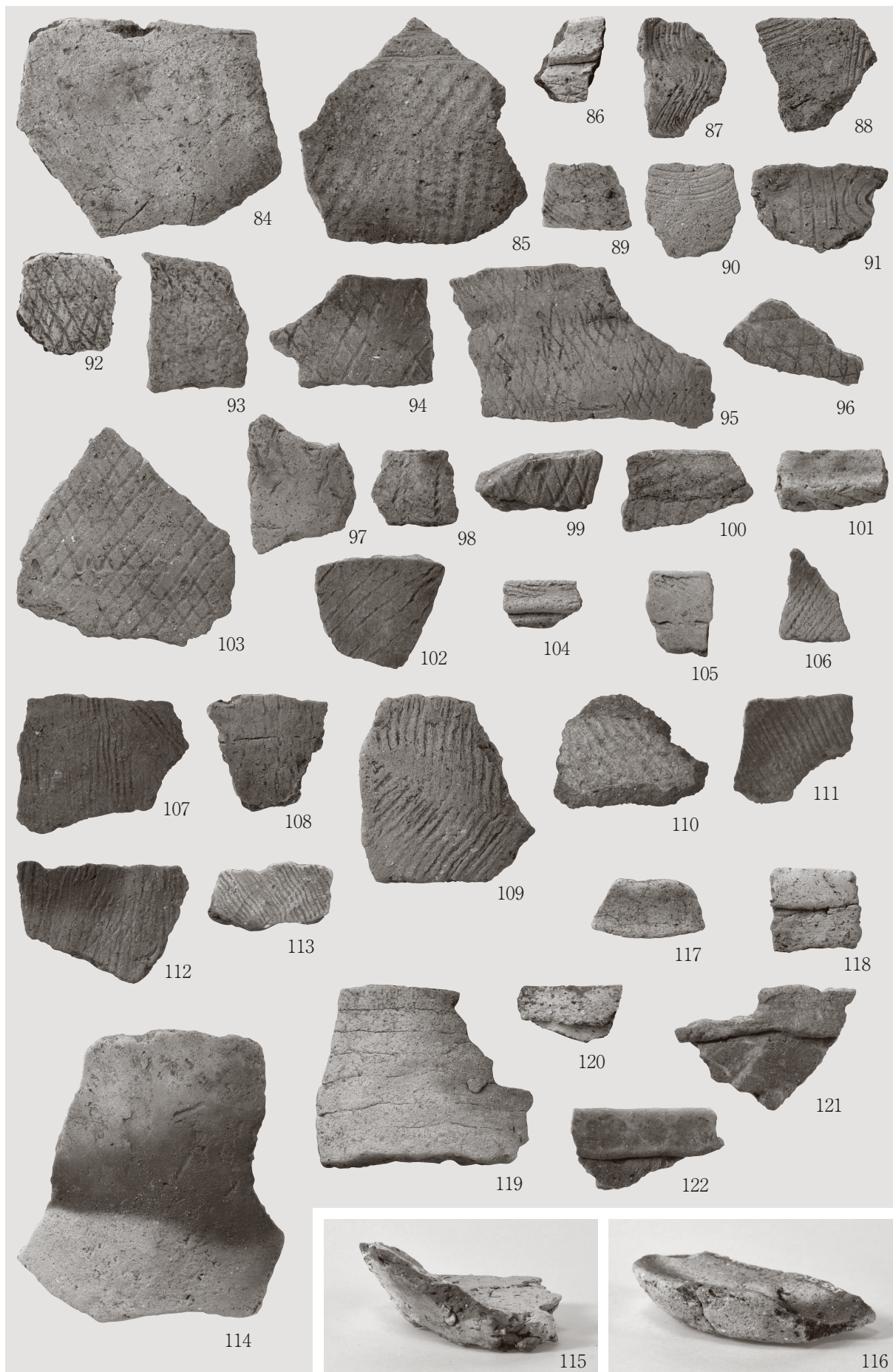
SK33出土遺物



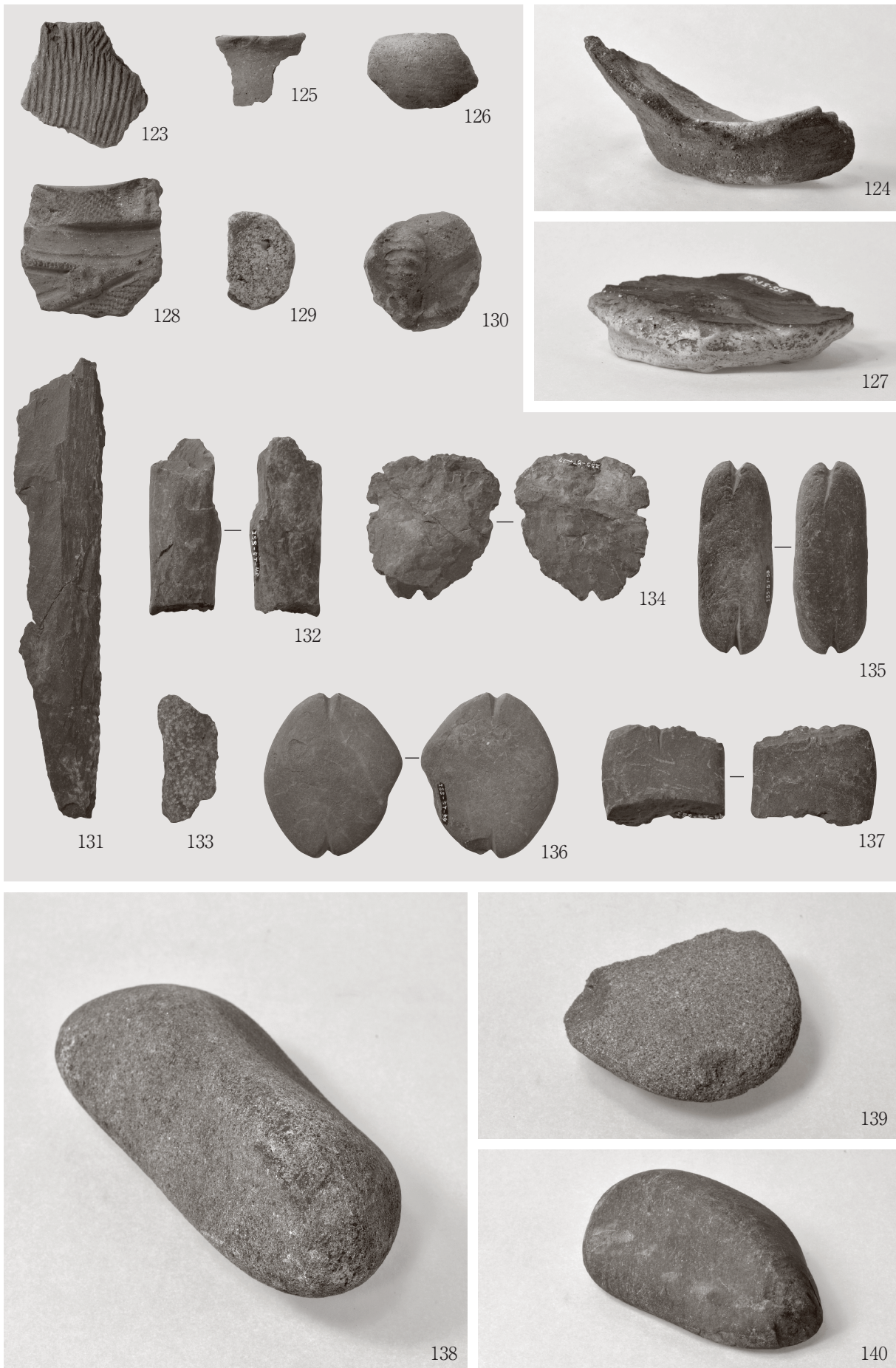
第5トレンチ出土遺物 (1)



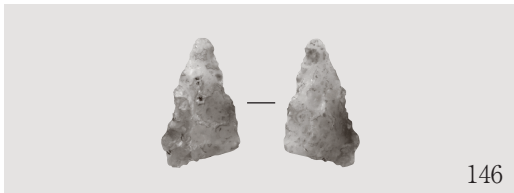
第5トレンチ出土遺物（2）



第5トレンチ出土遺物（3）



第5トレンチ出土遺物（4）



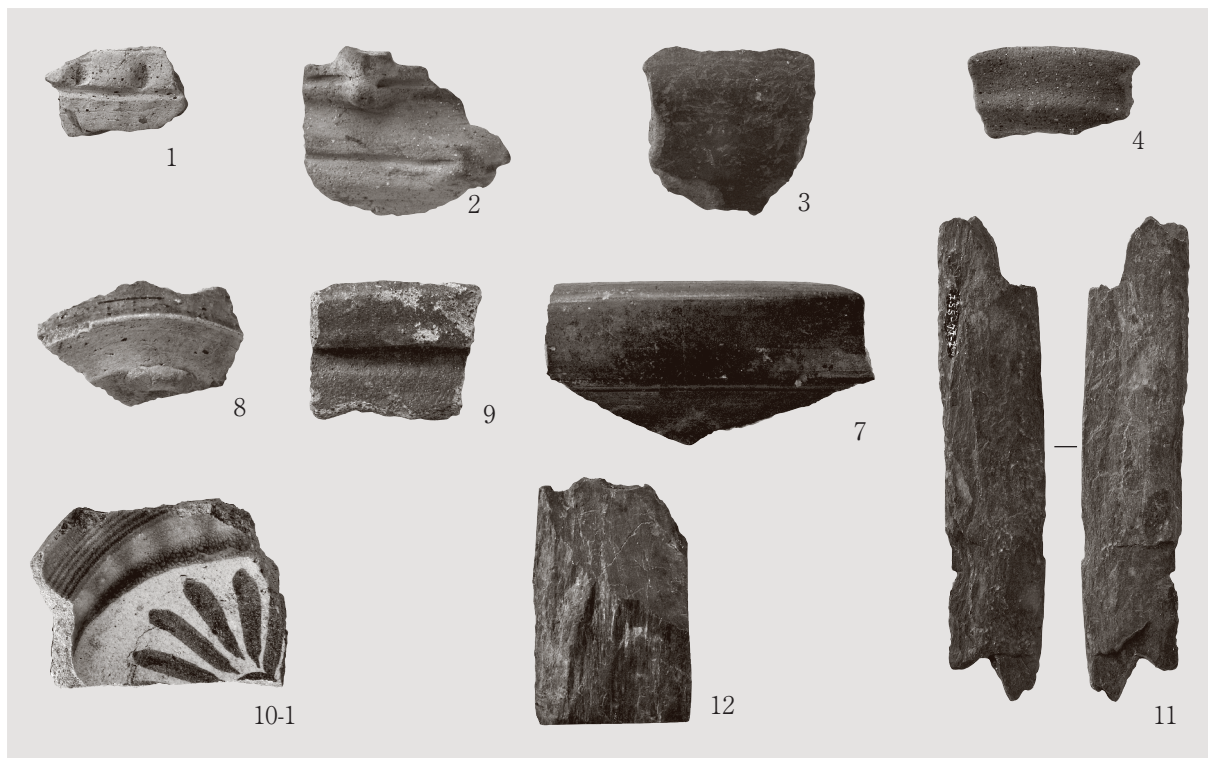
第5トレンチ出土遺物（5）



SK15出土遺物



第6トレンチ出土遺物



第7トレンチ出土遺物



SK23出土遺物



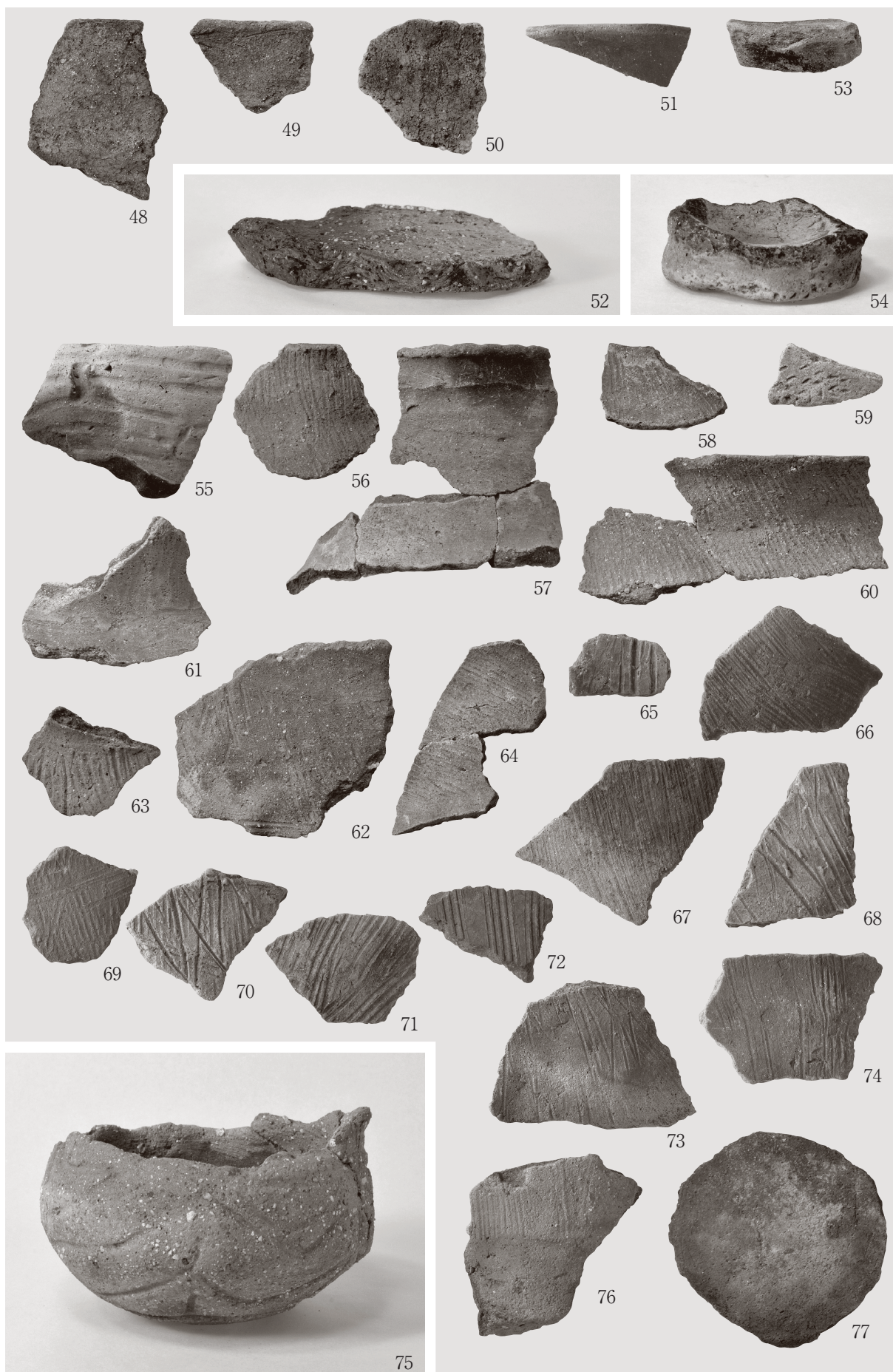
SK24出土遺物



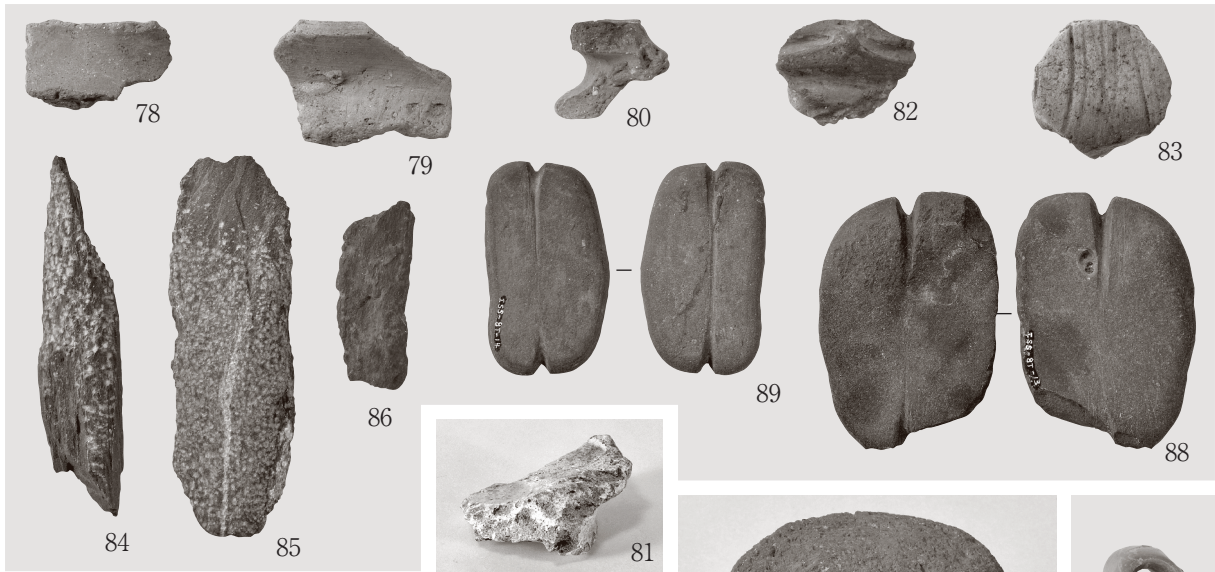
SK25出土遺物



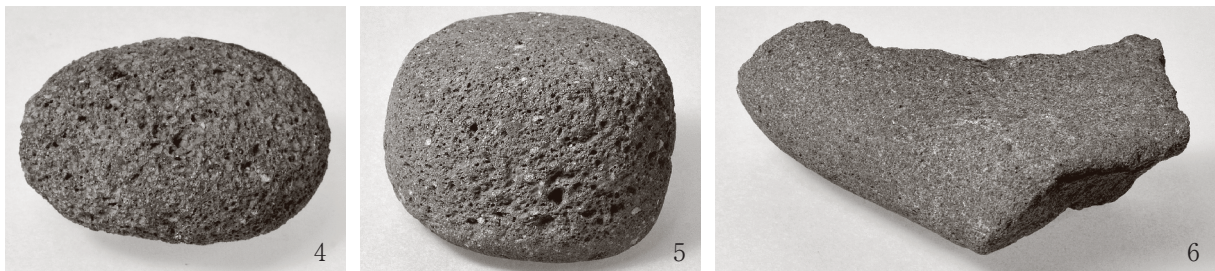
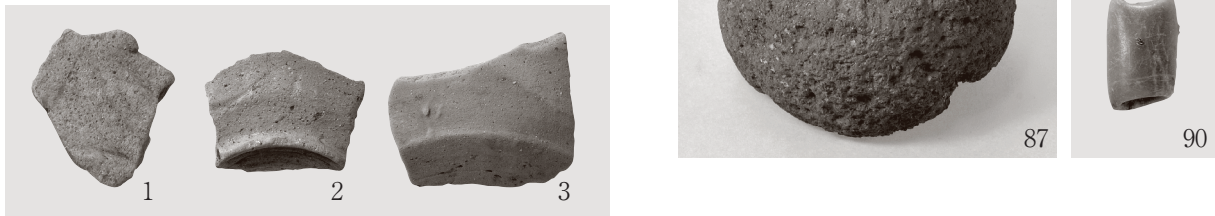
第8トレンチ出土遺物（1）



第8トレンチ出土遺物（2）



第8トレンチ出土遺物(3)



第9トレンチ出土遺物



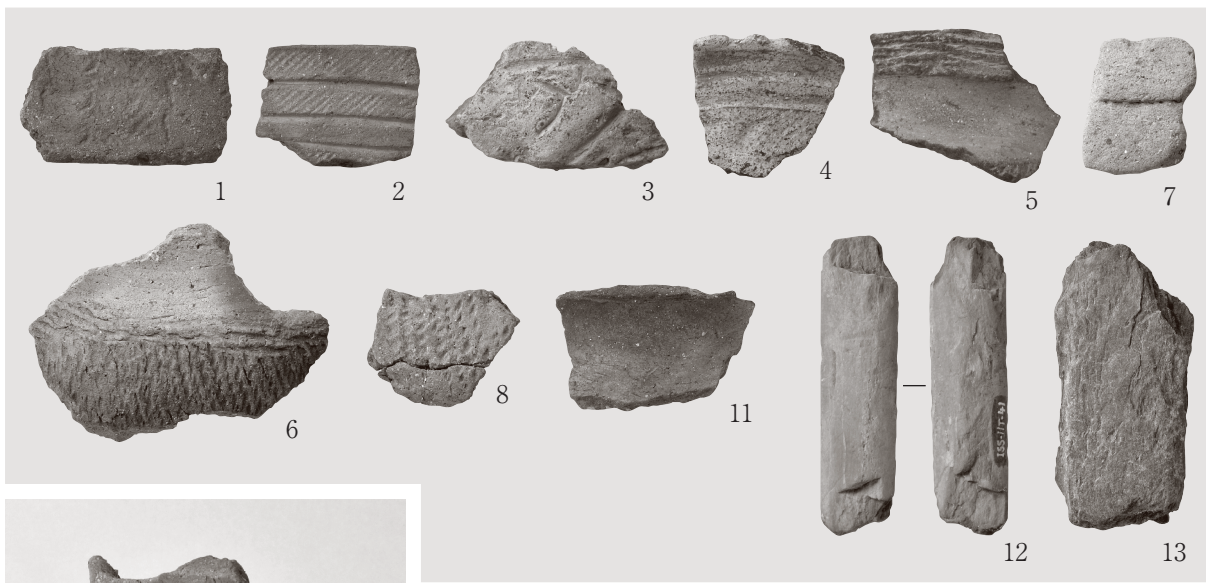
SI8 出土遺物



SK18出土遺物



SK31出土遺物



第11トレンチ出土遺物 (1)

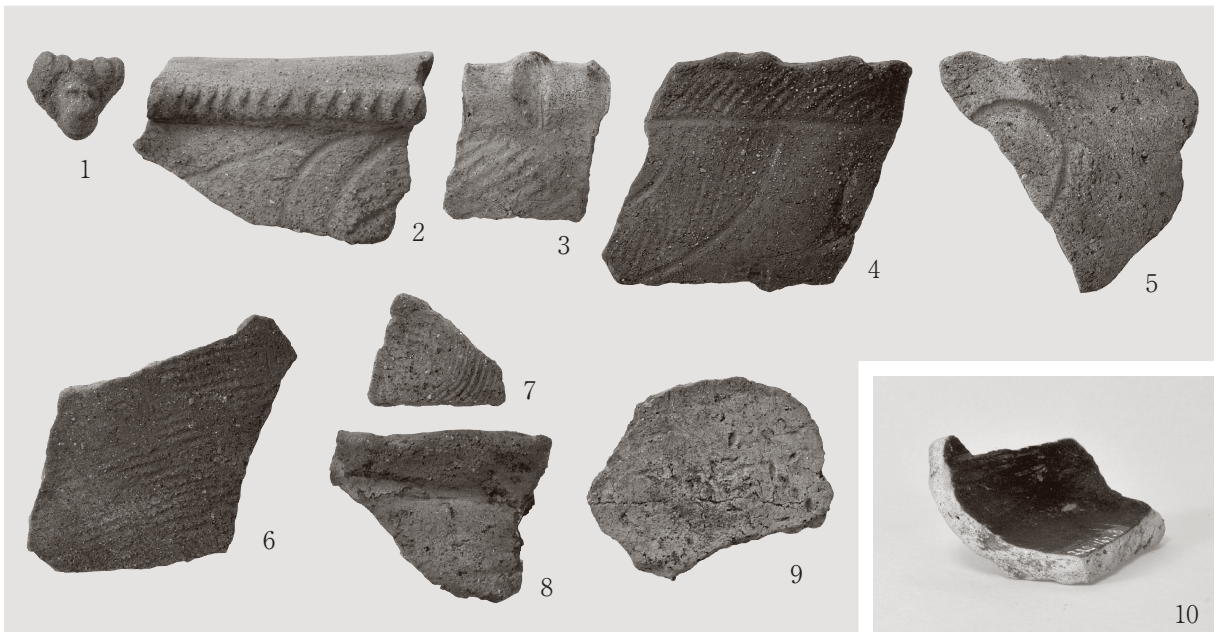


18



19

第11トレンチ出土遺物（2）



第16トレンチ出土遺物



1



2

3



4

表面採集遺物

報告書抄録

ふりがな	いずみさかしたいせき に								
書名	泉坂下遺跡Ⅱ								
副書名	保存整備事業に伴う第1次確認調査報告								
巻次									
シリーズ名	茨城県常陸大宮市埋蔵文化財調査報告書								
シリーズ番号	第16集								
編著者名	後藤 俊一, 萩野谷 悟, 中林 香澄								
編集機関	常陸大宮市教育委員会								
所在地	〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135番地の6								
発行機関	常陸大宮市教育委員会								
所在地	〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135番地の6								
発行年月日	平成25年(西暦2013年)7月31日								
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				m ²		
いずみさかしたいせき 泉坂下遺跡	ひたちのおみや 常陸大宮市泉字坂下 918番地 外24筆	08225	大034	36° 32' 1"	140° 26' 5"	20121001 ～ 20121115	10,512.89	保存整備事業に伴う 第1次確認調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項		
泉坂下遺跡	墓跡 集落跡	縄文時代	土坑 1基	縄文土器(鉢, 小形鉢, 台付鉢, 小形台付鉢, 深鉢, 浅鉢, 小形浅鉢, 壺, 小形壺, 広口壺), 土製品(土器片円盤), 石器(石剣, 石棒, 石刀, 敲石, 石鏃, 剥片, 石核, 凹石, 磨石, 管玉, 石錘, 台石, 砥石, 石皿, 小形磨製石斧)			前期・中期・後期・晩期の遺物が確認されている。中でも晩期の土器の出土量が突出している。		
		弥生時代	再葬墓 土器棺墓 土坑 性格不明遺構	6基 3基 2基 1基	弥生土器(壺, 小形壺, 深鉢)			弥生中期の再葬墓遺構の分布範囲が概ね掴めた。土器棺墓と性格不明遺構の追跡という新たな課題が生じた。	
		古墳時代	なし		土師器(壺)			古墳前期の遺物が確認された。	
		平安時代	竪穴住居跡 土坑	7軒 2基	土師器(坏, 高台付坏, 高台付碗, 耳皿, 甕, 台付甕, 壺, 小形壺, ミニチュア土器), 須恵器(甕), 灰釉陶器(皿), 土製品(管状土錘)			竪穴住居跡が低位段丘全域に広く分布していることが確認された。	
		中世	墓壇 溝	5基 3条	瓦質土器(内耳鍋), 青磁(碗), 陶器(甕), 石製品(石臼), 古銭(永楽通寶)			墓壇が広く分布しているほか, 区画溝も確認された。	
		近世	なし		瓦質土器(焙烙), 陶器(皿, 青織部皿, 筒形香炉), 銅製品(煙管)			近世の遺物が散見される。	
		不明	土坑 溝 性格不明遺構	13基 2条 1基				性格不明遺構は追跡が必要である。	
要約	縄文・弥生・古墳・平安・中世・近世と, 幅広い時代に渡る遺跡が所在していることが確認された。遺跡の所在する低位段丘の原地形の広がりについて, 北と東の限界を押さえることができた。また再葬墓遺構の分布範囲を概ね掴むことができた。								

本書は長期保存を考慮し、すべて中性紙を使用している。

【紙質】

表紙	レザック66白	215kg
見返し	上質紙	70.5kg
巻頭写真	マットコート	90kg
本扉・ごあいさつ・例言・目次・本文・付図	書籍用紙クリーム	70kg
写真図版・抄録・奥付	マットコート	90kg

【印刷】

写真図版以外はオフセット印刷（黒）

写真図版はダブルトーン印刷（スミ+セピア）スクリーン線数200線

茨城県常陸大宮市埋蔵文化財発掘調査報告書第16集

泉坂下遺跡Ⅱ

保存整備事業に伴う第1次確認調査報告

発行日 平成25年(2013)7月31日

著者 後藤 俊一, 萩野谷 悟, 中林 香澄

編集・発行 常陸大宮市教育委員会

所在地 茨城県常陸大宮市中富町3135番地の6

電話番号 0295-52-1111

印刷 山三印刷株式会社

泉坂下遺跡Ⅱ

付 図